

名前、いただきました。～決定！建物愛称 名付け親にインタビュー～

2011年5月～6月にかけて実施した千葉大学アカデミック・リンク・センターと附属図書館主催の建物愛称募集の表彰式が、8月24日（水）に附属図書館館長室で行われました。表彰式では、アイデアが見事建物愛称（L棟、I棟、N棟、K棟）として採用された山崎和幸福さん（医学部附属病院経営企画課所属）と、建物内のスペース名（まなび、きわみ、ひかり、つどい）として採用された八木澤早弥さん（法経学部総合政策学科2年）に、インタビューさせていただきました。



—今回はおめでとうございます。採用されて今のお気持ちをどうぞ。

山崎さん：とても光栄です。建物の愛称なら長く使ってもらえると思いますので。

八木澤さん：採用のメールをもらった時はとても驚きました。実は時々、「いつ結果発表かな」とHPをチェックしていたんです。

—応募したきっかけはなんですか？

山崎さん：現在は職員で、OBでもあるので、二重の意味で千葉大学には親しみを持っています。大学の建物の愛称募集ということで、せっかくなら応募してみようかなと。

八木澤さん：今回の募集は一斉メールで知ったのですが、建物に愛称をつけるというのは滅多にない機会だと思ったので。

—採用されて周りの反応はいかがでしたか？



山崎さん：結果発表の一斉メールがあったので、職場のみんなはそれを見て私が採用されたことを知ったようです。

八木澤さん：友達から「愛称選ばれてたねー」「おめでとう！」という言葉やメールをもらいました。

—この愛称をつけた理由を教えてください。

山崎さん：LINKは、たまたまそれぞれの頭文字から始まる

ぴったりの英単語を思いついたからです。（L=learning, I=Investigation, N=Network, K=Knowledge）

八木澤さん：覚えやすい名前なら親しみがわくかとも思い、ひらがな・三文字で統一してみました。また各棟の特色から関連のある単語にしました。たとえばコンテンツ・電子化を意識した東棟なら「ひかり」というふうに。

—お二人は、今まで図書館をどんなふうにご利用してきましたか？

山崎さん：実は、学生時代あまり利用することはなかったです。たまに本を借りたり、勉強しに来る程度でした。



八木澤さん：私はインターネット環境が自宅にないため、課題が出されると図書館で勉強することが多いです。パソコンは学内のあちこちにありますが、図書館なら静かだし、紙の資料をすぐ手に取ることもできるので。

—最後に、アカデミック・リンクに期待することを教えてください。

山崎さん：学生と教員の結びつきの強さに比べて、学生と職員のそれはまだ弱いと思っています。アカデミック・リンクでは、職員も何らかの形で関わっていければいいですね。

八木澤さん：図書館だと自由に会話ができないので利用しない、という友人もいるので、ディスカッションできるスペースや、質問・相談ができるコーナーがあるのは便利ですよ。新しい空間になれば、利用者も増えると思います。

—山崎さん、八木澤さん、改めて今回はおめでとうございます。お忙しい中ご協力ありがとうございました。

（2011年8月24日 千葉大学附属図書館、千葉大学アカデミック・リンク・センター）